

◎多世代交流の仕組みづくり事業

3月27日(水)に、実谷区民館で地域住民、三育学院大学と一緒に、多世代交流の仕組みづくり事業「第4回 寄茶場 in 実谷&七本」を実施しました。

今回は、「昔遊び」をテーマに子どもから大人まで46名の方と一緒にけん玉やメンコなど昔遊びをしました。子ども達が高齢者に昔遊びのやり方などを教わりながら一緒に楽しく遊んでいるのが印象的でした。



▲おはじきを一緒に楽しむ姿



▲やり方を教わりながらメンコを実践している風景

今回も前回同様、実施にあたり、地域住民の方を中心に三育学院大学と協力しながら、交流会の内容の検討や準備、チラシ作り、周知などを行いました。住民の方も参加していない家へチラシを配りながら訪問し、寄茶場の魅力を伝えていったり、ママ友へ声を掛けたりと地域を盛り上げようと住民自ら地域づくりに取り組んでいます。

今後も「寄茶場」を通して、地域の方たちと一緒に地域づくりに取り組んでいきます。

昔遊びは、けん玉、メンコ、おはじき、お手玉、コマなどで遊びました。高齢者の方は、昔自分たちが使っていたおはじきなどを持参し、一緒に遊んだり、お手玉を子ども達と一緒に作る姿も見られました。

子ども達は春休み中であるため、大勢の参加があり、汗をかきながら遊びました。高齢者も子ども達の若い力に元気を貰い、いきいきとしていました。

また、オリーブ茶やオリーブの葉を使ったどら焼きでお茶会も行い、終始笑いが絶えることなく、賑やかな会となりました。



▲大人も子どもも一緒にお茶会を楽しんでいます